（別紙）

令和8年11月2日
鹿屋体育大学学長選考・監察会議

国立大学法人鹿屋体育大学長に求められる学長像
（国立大学法人鹿屋体育大学学長選考基準）

全国で唯一の国立の体育系大学である本学は、スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する理論と実践を教授研究し、もって豊かな教養と高い学識及び優れた技能を合わせ備えた実践的、創造的な指導者を養成するとともにスポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する理論や実践の深奥をきわめ、その進展に寄与することを目的としている。

それらを踏まえ、国立大学法人鹿屋体育大学学長選考・監察会議は、国立大学法人鹿屋体育大学学長選考規則第4条第2項の規定に基づき、学長に求められる資質・能力等を次のとおり定める。

Ⅰ　次期学長に求められる資質・能力

1. 本学の特性と社会的使命を踏まえ、中長期的かつ国際的な視点から大学の進むべき方向性を構想するとともに、優れたリーダーシップと実行力をもって推進する能力を有すること。
2. 大学関係者や地域社会との信頼関係を築き、円滑なコミュニケーションを通じて、諸課題の解決に向けた理解と協力を得る能力を有すること。
3. 大学経営の全体像を俯瞰し、必要な情報を的確に把握しつつ、大学を取り巻く環境の急激な変化に柔軟に対応し、優れたマネジメント力と決断力をもって機動的に運営する能力を有すること。

Ⅱ　次期学長に求められる取り組むべき課題

1. 本学の長期ビジョン「NIFS NEXT30」に掲げるミッション等を踏まえ、教育・学生支援、研究、国際化、社会連携・社会貢献を統合的に推進すること。
2. 全学的にダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョンに関する取組を行い、学内構成員の意識改革と制度改革を推進すること。
3. 学内外の多様な意見を適切に経営に反映し、透明性・公正性を確保した組織運営を行うとともに、強靭で柔軟なガバナンス体制を構築・推進すること。
4. 第5期中期目標・中期計画において、国立大学法人改革基本方針を踏まえた組織見直し、財務戦略、人事戦略、マネジメント体制を構築・推進すること。